

令和6年度8月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和6年度8月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和6年8月28日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 第9回生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森委員、石川委員、村山委員、砥上委員、橋爪委員、倉掛委員、丸井委員（以上委員8名）
- 【 欠席委員 】 山本委員
- 【 事務局 】 生涯学習推進課長、職員2名
- 【 傍聴者数 】 0名

(配布資料)

- ・ レジюме
- ・ 笑顔のつどい協議について(資料1)
- ・ 笑顔のつどい進行案(資料2)
- ・ 笑顔のつどいに関するアンケート結果

議事録：「第9回生涯学習笑顔のつどいについて」

(井浦議長)

テーマ、発表者についてご意見をお願いします。

(倉掛委員)

久保西チャレンジ教室は、今年の夏から始めたばかりの活動なので、なぜ始めようと思ったのか聞いてみたい。

(井浦議長)

団体候補は花鶴丘3丁目区長、子育てサロンちいさかーさ、久保西チャレンジ教室で決定してよろしいでしょうか。テーマの「居場所」は子どもか高齢者かはっきり分かるようにしたほうがいい。テーマには「子ども」を入れたほうがいいのではないか。

(倉掛委員)

居場所は、放課後か公民館かはっきりしたほうがいいのではないか。

(砥上委員)

久保西チャレンジ教室はいつしているか。

(倉掛委員)

放課後ではない。夏休みだけだが、今からどのように活動していくか聞いてみたい。

(井浦議長)

地域、子ども、居場所、公民館という言葉が出ている。公民館を子どもの居場所にしたいという思いがあるが、それをストレートに「公民館を子どもの居場所にできないか」というテーマにするのはどうか。

(倉掛委員)

昔はどこでも遊べたが、今は子どもの居場所が少なくなっている。

(村山委員)

夏休みに学校で宿題を見ることは昔からやっていたが、今はなくなった。以前されていた活動がなくなった理由や、地域で必要だと思ってまた始められた理由などをきちんと発表したほうがよいと思う。

(井浦議長)

サマースクールや寺子屋に行かなくともちょっと立ち寄れる場所として、地元の公民館が遊ぶ場所として居場所になればいいと思う。テーマに公民館と入れるのが分かりやすいのではないか。

(角森委員)

「第三の居場所」という言葉がとてもインパクトがある。「第三の居場所としての公民館を考える」はどうか。

(丸井委員)

「公民館を第三の居場所へできるか？」はどうか。

(井浦議長)

あまり強く言い切ってしまうと区長たちが参加しづらくなるのではないか。「公民館を第三の居場所へできないか」を区長たちと考えてみて、厳しいという意見が出るかもしれない。学童では学校と違う様子の子も多い。

「公民館を子どもたちの第三の居場所にできないか」というテーマでいきたいと思う。これだとサブテーマはなくてもいいですね。来月も協議ができるので、また他にもあれば、意見を聞きたいと思う。調整担当は、前回と同様、倉掛委員と丸井委員でお願いします。発表の内容は、自己紹介、活動紹介、活動をはじめたきっかけ、活動の成功談、失敗談でよろしいでしょうか。

(角森委員)

子供の活動に目を向けたかなども教えてほしい。

(倉掛委員)

ちいさかーさの食堂のきっかけは、夏休み中にいつも会う子が、朝からコンビニでお菓子をたくさん買って食べていて、きちんと食事がとれているか心配になったという保護者の話から始まった。はじめは、チラシを配って食堂の周知をした。

(井浦議長)

公民館を使うメリット、デメリット、課題があったのかなども含めて聞けたらと思う。

(倉掛委員)

笑顔のつどいの日時について、パネリストや区長たちに早く伝えておいたほうがいい。どの

ような段取りになるか。

(事務局)

9月上旬には、パネリストに依頼文を送付し、区長会での周知も早めに行えるよう調整をしたいと思う。チラシを10月中には作成し、配布して周知する。

(井浦議長)

進行については、終わりの言葉を私がしますので、問題提起を角森委員お願いします。

(事務局)

今後のスケジュールについては、9月の会議で発表内容、進行案の協議を行い、会議後に調整担当者とパネリストで発表内容の打ち合わせをしていただく。そして、10月～11月で当日の役割決めや、パンフレット、当日の進行の確認をする。パネリストの発表原稿については、12月に手話通訳の方にお送りするので、11月末までに発表原稿を提出いただく。